

9月に動画コンテンツ作成サービススタート

物件のタウン情報や最寄り駅からの徒歩ルートナビなど

リーシング・マネジメント・コンサルティング

リーシング・マネジメント・コンサルティング（以下、LMC）は、新サービス「賃貸ルートナビ」をリリースした。同サービスは、今までになかった物件の周辺情報や最寄り駅からの徒歩ルートをナビする動画コンテンツ。同社では、ユーザーが求めるコンテンツは、賃料、設備、室内写真だけではなく「外観や周辺環境」の詳細情報とを考える。「楽賃ルートナビ」は周辺エリアのタウン情報や最寄駅から物件までの徒歩ルートをナビゲートする動画コンテンツサービスになつていい。ポータルサイトや物件の外観、グレード感など写真だけでは伝わらぬ物件周辺情報をクリッ

ク一つで閲覧できる。

女性の部屋探しは物件の周りの治安や防犯面が気になるもの。最寄り駅の徒歩ルートや近隣環境などを重視している。そ

の要望に応えたサービスだ。また、インターネット上で周辺環境まで把握

することができれば、候補の絞り込みがスマートに行えるのもメリット

S関連の告知などさまざ

なシーンを通じてユーザーに物件の訴求をする

ことができる。

他にも賃貸仲介会社への物件情報の理解促進にも効果的だ。営業スタッフが事前に「賃貸ルートナビ」の動画を見て物件の理解を深めれば来店客への紹介頻度も高まると考えられる。これにより空室率改善へとつながる。例えば駅から遠い物件でも周辺環境の充実度を理解し、エンドユーザーにPRしてもらうことも期待できる。

同社では、「重説IT化」についても視野に入れている。現在国土交通省はインターネット等を利用して対面以外の方法による重要事項説明について具体的な手法や課題への対応策に関する検討

までの動画案内、物件周辺エリアのおすすめ店舗、施設紹介。

物件の最寄り駅から物件までの動画案内、物件周辺エリアのおすすめ店舗、施設紹介。

エンジニアは、ネット上で契約の意思決定をすることも想定できる。

以上の物件情報、コンテナ

ラレると考えている。

基本サービスの内容は

物件の最寄り駅から物件までの動画案内、物件周辺エリアのおすすめ店舗、施設紹介。

物件の最寄り駅から物件までの動画案内、物件周辺エリアのおすすめ店舗、施設紹介。

を実現したたら

だ。動画の使い方は、さまざま。URL形式で納品されるため、自社サイト、ポータルサイトで利用できる。例えは駅から遠い物件でも周辺環境の充実度を理解し、エンドユーザーにPRしてもらうことも期待できる。

同社では、「重説IT化」についても視野に入れている。現在国土交通省はインターネット等を利用して対面以外の方法による重要事項説明について具体的な手法や課題への対応策に関する検討

と閲覧者がみなくなってしまうという考え方のもと時間を見定めた。費用は1物件、年間9万500円。次年度以降映像利用料金が2万円発生す

ることも想定できる。